

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合育成カレッジ未来館		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 26日		～ 令和7年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 26日		～ 令和7年 3月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内のスペースが広く開放的で、集団活動の時間と余暇時間のメリハリがある。	・集団活動の時間はお子様が集中できるように、30分程度行っている。(長期休みは午前と午後、30分程度を2回実施。) その他の余暇時間ではお子様の利用目的(したい事や体調等)に合わせて過ごし分けが出来る。職員も各部屋に分かれてお子様の希望に合わせ、一緒に行っている。	・クールダウン出来る個室がない為、パーティションやカーテンなどを準備する。
2	・天候に左右されずに走り回れる屋内人工芝がある。	・身体をたくさん動かす活動を中心にスケジュールを組む事でお子様たちが発散出来るようにしている。ピジョントレーニング等も取り入れながら、楽しく参加出来るようにアレンジし、飽きない内容を考案するよう意識している。また、複数人の職員と一緒に活動を行う為、補助にすぐ入ったり、お子様に必要な課題に気づく事が出来る。	・道具を充実させると、もっと活動の幅を広げる事が出来る。
3	・学習面のサポートが出来る環境設定(人員配置)をしている。	・個別で付き添い、宿題に取り組む事で、お子様の引っ掛かりに気づく事が出来、タイムリーに保護者様や関係機関と現状の共有が出来るようにしている。	・広めの空間で複数人で取り組み、個別で集中出来るような空間作りをする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の外出やレクリエーションが少ない。	安全面に不安がある。	引率できる職員の充実(増員)や、安全にレクリエーションが出来るようなお出かけ場所のリサーチ。
2	地域との交流が少ない。	企画や準備をする時間の確保が難しい。	職員の負担にならないように長めの準備期間を設けてイベントを企画する。マルシェやイベント等、地域の方に事業所への理解や来所のきっかけ作りとなるような内容も盛り込む。SNS等も利用し積極的に発信していく。
3	職員間の情報共有や新人職員の育成。	外部の研修に参加する時間や人員の確保が難しい。	研修に出れるように人員を確保する事。事業所内で受けられるイーラーニング研修は取り入れている為、職員が研修を受けられる時間を作り、積極的に実施していく。

